

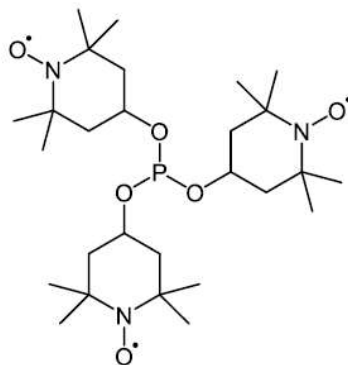
技術データ

重合禁止剤 705

化学名称: tris(1-hydroxy-2,2,6,6-tetramethylpiperidin-4-yl) phosphite

CAS NO.: 2122-49-8

構造式:



特徴

重合禁止剤705は新型で高効率で、広く応用されている新型ラジカル重合禁止剤であり、分解しなく重合禁止効率が高い。有酸素無酸素環境下ではいずれも良好な重合禁止効果がある。

応用

本製品は（メタ）アクリル酸特殊エステル合成及び分離過程、例えばヒドロキシエチルアクリレート（HEA）、ヒドロキシプロピルアクリレート（HPA）、ヒドロキシエチルメタクリレート（HEMA）、ヒドロキシプロピルメタクリレート（HEPA）などの製品への使用を推薦する。

技術データ

外観	レンガ赤色粉末
純度	≥95%
融点	≥125℃
沸点	>500℃
揮発分	≤0.5%

包装・貯蔵

包装: 25kg のダンボール箱、内側：ビニール袋。お客様が要求される他の包装。

貯蔵: 容器は密閉されたまま、乾燥し、風通しの良い場所に保管する。高温場所またはほかの酸性化学品との共同保管を避ける。

安全

適切な防護設備を使用することをお勧めします。製品への過剰露出を避ける。処理後は徹底的に洗浄する。すべてのセキュリティ情報は、セキュリティデータ表に表示される。